

# 和田とくお



この秋、長い議論の末安全保障法制が成立、TPPも大筋で合意されました。県の東部地区を見ますと、内陸のフロンティアを拓く取り組みとして小山町の3地区(新東名小山PA周辺、湯船原地区、足柄PA周辺)の事業が昨年から開始され、伊豆半島でも担当副知事の誕生により、伊豆縦貫道全線開通へのステップが更に期待されるようになり、また、御殿場以東の新東名高速道路とその関連道路整備も進んでいます。

地域の将来にとって、明るい希望の持てる構想や事業も、そこに生活する地域の皆さんの理解と協力がなければ良い結果は生まれません。私も身近な問題の解決に迅速に対応しながら、大きな問題にも積極的に関与しつつ、地域の発展のために引き続き努力する所存です。

## 県議会9月定例会

9月定例会は、9月18日から10月15日の間開催され、大規模地震に対する備え、静岡空港関連事業、地方創生、新成長産業の育成、ユネスコへの保全状況報告、健康寿命日本一の延伸等について、当局の姿勢を質しました。この中で、地方創生を実現するための総合戦略にある「県都構想」や世界遺産センターの問題(別途解説)は、今後の検討課題として残ることになります。また9月の補正予算は約20億円弱で、地方創生の推進、ラグビーワールドカップ関連、地球環境史ミュージアム、そして小山町湯船原工業団地全体事業費の約6億円余の増額が認められました。



## 企画・くらし環境委員会

企画・くらし環境委員会では、委員会所管の補正予算審議のほか、地域外交の展開、地方創生への取り組み、多文化共生施策、移住・定住の促進、耐震改修促進計画、ニホンジカ対策、環境影響評価条例の改正等について質疑しました。特に地方創生戦略における東部地域圏については、県からの押しつ的な手法も感じられるため、地域圏の構成市町の意見尊重を強く求めました。



## 大規模スポーツイベント対策特別委員会

10月26日、第3回委員会が実施されました。今回は、経産省地域経済部及びNPO法人TOSSの2団体から参考人を招致し、オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化策及び県内児童生徒へのラグビーの普及策について貴重な意見を伺い、委員会としての政策提言作成の参考とさせていただきます。



# 地方創生における「県都構想」問題の概説

県都構想とは、静岡市を廃止して「静岡都」とし、現在の葵区、駿河区及び清水区の三行政区を、東京23区のような特別区として権限を強化しようとするもので、知事が静岡市長を兼ね、市長は静岡市担当副知事に就き、市職員は県職員として再編成することで二重行政を解消し、行政の一元化を図ろうとする川勝知事独自の構想です。この構想は、大阪都構想の住民投票が否決された直後の5月18日に知事が突然表明したもので、直接の当事者である静岡市長や市議会の理解や賛同は、まったく得られていません。特別区の設置には法改正も必要ですが、その見通しも立っていない中、知事は自説の実現に向け一方的ともいえる姿勢で動いています。県議会の我が会派は、当事者の静岡市との合意形成さえ全く見通しが立っていない現状では、この構想の是非判断は時期尚早として、その推移を見守ることとしました。

## 富士山世界遺産センター建設問題



コンベンションビューロー

同センターは、世界文化遺産に登録された富士山の情報発信や保存管理の拠点として、富士宮市に建設することが決定し、2016年度中の開館を目指して、左図のようならせん格子状の「逆さ富士」を表現した構造物とする計画で、工事費約28億円とする議案を本年2月議会で議決しました。6月、工事契約を入札しましたが、予定額を大幅に上回ったことから不調となり、計画を見直さざるを得なくなりましたが、結果として当初より約5億円以上の建設費がかかるとの説明があったため、我が会派としては、増額を前提とした関連補正予算案の9月議会提出は認められないとして再検討を当局に求めたものです。

## 大規模スポーツイベント対策 特別委員会県外視察

9月7～9日



沖縄県議会



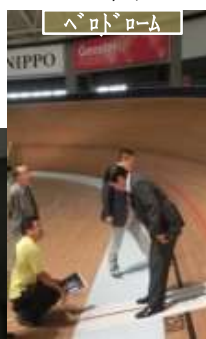
コンベンションビューロー

県外視察での最初の視察先は、伊豆市のベロドロームで、この施設は、来る東京オリンピックの自転車競技候補地として最有力視されており、競技施設決定に向けた諸課題を現地で確認できました。続く沖縄では、県のスポーツ振興課、ツールド・オキナワ協会、そして沖縄観光コンベンションビューローで、行政と関連諸団体が協力してスポーツを活用した沖縄観光の魅力創出に取り組む施策を研修できました。ただ、沖縄ではこれらの予算のほとんどを国の拠出金で賄っている実態も確認でき、県としての施策の取り入れ方については、工夫が必要です。



ツールド・オキナワ協会

コンベンションビューロー



ベロドローム

## 静岡がんセンター 放射線治療棟完成



静岡がんセンター放射線治療棟完成記念式典



静岡がんセンター放射線治療棟完成記念式典

2002年に開院された県立がんセンターが、昨年ある専門誌が実施した「がんに関心のある病院ランキング500」で第2位に位置づけられていることを御存じでしょうか。がんは今や国民病とも言われていますが、その治療法は「外科療法」「化学療法」そして「放射線療法」が三本柱とされています。県がんセンターでは、この度、新たに放射線治療装置を導入し放射線治療棟として施設を増築、9月16日にその完成記念式典が行われました。本年11月には「放射線・陽子線治療センター(仮称)」を発足し、更に治療体制の充実を図り、高齢者ががん治療の中心的部門として活動していくこととなります。







今回の県外視察では、東京・千葉管内の某ホテルのバックヤードでエネルギー高効率利用、ごみ・水リサイクルを、国、県移住相談施設で移住・定住促進の取り組みを、水素ステーションで水素社会実現に向けた取り組みを、地域冷暖房センターで環境調和型地域エネルギーサービスの現況を、NECイノベーションワールドでICTを活用した人と地球にやさしい情報社会実現に向けた最新技術をそれぞれ視察し、今後の委員会活動の資を得ました。

## 静岡空港新幹線新駅構想のその後



一昨年の暮れ、静岡空港の真下を新幹線のトンネルが横切っているため、これを利用して新幹線新駅を造ろうという構想があることを、この県政報告「やまぶき」11号でお知らせしましたが、本9月議会の補正予算で、技術検討に必要な新幹線トンネルへの影響解析のための予算(600万)を計上しました。JR東海は、この事業に対し賛意を示していませんが、空港利用者の利便性向上を含め、首都圏並びに中部・東海圏の空港機能を補完し、防災拠点としての強化に寄与するこの構想実現に向けて、県はいよいよ動き出しました。

## 議会報告及び講話



8月には県隊友会の役員の皆様到时局講演を、10月には市民の皆様へ県政の諸課題についての報告を行いました。今後もこのような機会を通じて、活動に対する理解を深めたいと思っています。

## 中小企業対策協議会との意見交換



10月9日、中小企業の各種団体(商工会、商工会議所、商店会、建設、食品、機械・金属、生活衛生、ホテル・旅館等の10団体)との意見交換を行い、県内中小企業の経済活動を更に活性化するため、各業種の現状や問題点を聞き取り、県行政への反映要領について活発な意見交換を行いました。景気の向上が実感できない現状を踏まえ、それぞれの業種が抱える問題点の解決に向け、今後とも県行政への働きかけを継続する所存です。

## 小山町社会資本整備現地視察



8月18日、町職員の案内を受けながら、県担当者の同行も願い、小山町内のインフラ整備等の現況等について、町内各地を確認してまいりました。治山・治水や道路整備等は、住民の安全に直結する大変重要な事業であることから、優先順位をつけながら、努めて早期に事業着手できるよう頑張ります。



# 政務調査活動報告

## 期間内の主な活動

<b>8月</b>	
1日	小山町町制103周年記念式典、JC中学野球大会
2日	市スポレク祭、富士登山駅伝、御殿場夏祭り
3日	市内企業主等意見交換
4日	市内企業主等意見交換
5日	板妻駐屯地夏祭り
6日	自衛隊協力会(滝が原)懇親会
7日	県庁にて政務調査
8日	自衛隊父兄会行事
9日	三市(御殿場、富士宮、富士吉田)野球大会等
10日	R469建設促進知事等陳情
11日	県庁にて政務調査
13日	隊友会納涼祭
15日	玉穂地区戦没者追悼式
16日	火力演習県職員等研修引率
17日	9月補正予算政調ヒアリング
18日	小山町内治山治水等現地調査
19日	無形文化財関連施設陳情対応
20日	富士学校長、副校長表敬
21日	県隊友会役員総会にて県政報告
22日	橋祭
23日	総合火力演習
24日	経産省、羽田JL整備工場研修
27日	支部政策要望受け
29日	老人介護施設研修、富岳夏の感謝祭
30日	県総合防災訓練研修(焼津、藤枝)
31日	9月補正予算政調ヒアリング
<b>9月</b>	
5日	わらじ供養祭
6日	富士岡地区体育祭、ヘネイ駿東記念行事
7~9日	大規模スポーツイベント対策特別委員会視察
10日	9月議会議案説明、議員勉強会(エネルギー情勢)
11日	富岳(裾野)敬老会
12日	県健康長寿サミット、砲友会行事
13日	玉穂地区体育祭、足柄峠笛祭り
14日	駒門駐屯地司令表敬
16日	富岳敬老会、県立がんセンター新棟完成式
18日	9月議会定例会初日(開会)
19日	玉穂小運動会、御殿場地区慰霊祭、小山町敬老会
20日	西区敬老会、警察犬大会、市スポーツ祭(銃剣道)
24日	事務所にて委員会所管事務調査
25日	県庁にて政務調査
26日	西中体育祭、ふれあい広場
27日	御殿場市制60周年記念行事
28~30日	9月議会定例会2~4日目(代表質問、一般質問)
<b>10月</b>	
1~2日	9月議会定例会5~6日目(一般質問)
3日	県自衛隊殉職者追悼式
4日	市スポーツ祭開会式、市空手道大会、小山町産業祭
6~8日	企画・暮らし環境委員会
9日	中小企業対策協議会、副議長就任祝賀会
10日	市婦人スポーツ祭、青少年交流の家オープンハウス
11日	原里区民体育祭、スピードウェイR500
12日	小山町民体育祭
13~14日	東部募集相談員連絡協議会研修(関西)
15日	9月議会定例会最終日
17日	県議、県職員懇親行事
20~22日	企画・暮らし環境委員会県外視察(東京・千葉)
23日	県戦没者慰霊祭、党員・党友の集い
24日	市社会福祉大会
25日	高根どんたく
26日	大規模スポーツイベント対策特別委員会



市スポレク祭



市ふれあい広場



市スポーツ祭



御殿場・小山中学野球大会



総合開会式



空手道大会



小山町産業祭・ふれあい広場

## 雑感

今年8月、高校生の生活と意識に関する調査報告書が出されました。この調査は、日本、米国、中国、韓国との比較の形でまとめたものですが、この中で私が注目したのは、親が高齢者となりあなたが世話をすることになった場合、「どんなことをしてでも自分で親の世話をしたい」と答えた日本の高校生の割合が30%台で最下位、一方、「経済的な支援をするが、世話は家族や他人に頼みたい」は日本がトップ、また「親を尊敬している」は30%台で最下位だったことです。皆さんはこの結果についてどう思いますか。私は、戦後怠ってきた道德教育の結果もあると思います。昨年の日本の医療費は実質40兆円を超え、この10年で約8兆円も増えました。今、国民一人あたりの医療費は、75歳未満で約21万円に対し、75歳以上では約93万円かかっており、その抑制策の一つとして在宅医療・介護の推進が急務とされていますが、この結果を見るとかなり厳しいように思います。

## 静岡県議会議員 和田とくお事務所ご案内

〒412-0025 御殿場市二の岡 1-4-8

Tel: 0550-84-2590 FAX: 0550-70-7366

メール: wada@ca.thn.ne.jp

※自民改革会議ホームページ (<http://www.jimin-kk.com>) も併せてご覧ください。  
ご意見、ご要望をお待ちしています。

